

「落花生」生育情報（第3報）

～ 基本技術を励行して収量増加！ ～

※本資料は、落花生生産者へ落花生の生育情報を提供するものです。

調査時点での生育状況をまとめたものであり、本年の収量を予測するものではありません。

令和4年9月9日

千葉県農林水産部

生産振興課

1 生育状況

1) 気象概況

7月から8月中旬にかけて、平均気温、日照時間ともに平年を上回りました。降水量について、8月上旬以降は、数日～1週間おきに降雨があり、平年を大きく上回っており、8月中旬以降の日照時間は平年をやや下回っています。

2) 生育状況

作況調査ほ及び落花生研究室のほ場において、9月1日時点におけるさや実数及び乾燥さや実重は平年と比較して多く、特に上さや実数の割合が大きく上回っています。一方で「おおまさりネオ」については、前年と同様の推移となっています。

表1 作況調査成績（9月1日調査）

品 種 名	年次	は種日	開花期	さや実数(個/m ²)		生 さや実重 (g/m ²)	乾燥 さや実重 (g/m ²)	上さや 不稔歩合 (%)
				総さや数	(うち) 上さや数			
千葉半立	本年	5/26	7/6	229	146	855	228	0.7
	前年	5/28	7/11	217	77	721	140	0.7
	平年	5/26	7/8	214	73	694	155	1.5
ナカテユタカ	本年	5/26	7/1	295	217	1020	371	1.7
	前年	5/23	6/28	235	129	758	264	0.0
	平年	5/23	7/3	230	124	769	261	1.2
Qなっつ (千葉P114号)	本年	5/31	7/5	258	199	984	310	0.0
	前年	6/1	7/6	242	114	817	221	0.0
	平年	5/29	7/5	252	123	859	246	0.3
おおまさり ネオ	本年	5/23	7/1	300	56	1348	228	0.3
	前年	5/23	7/1	269	54	1307	248	0.8
	平年	—	—	—	—	—	—	—

* 本年値及び前年値は、各調査地点の平均値。「千葉半立」は千葉・印旛・香取地区、「ナカテユタカ」は千葉・海匝・長生地区、「Qなっつ」は印旛・香取・長生地区、「おおまさりネオ」は千葉・印旛・君津地区。

* 平年値は、圃場変更がない限りは過去7年間（「千葉半立」、「ナカテユタカ」）または過去6年間（「Qなっつ」）の調査データから最大・最小を除く平均。ただし、「おおまさりネオ」は前年との比較値。

* 対比はラウンド処理をしているため、小数点以下が合わない場合がある。

* 開花期は、1輪でも花が咲き始めた株がほ場全体の50%に達した日。

表2 (参考) 落花生研究室(八街市)の作況(本年の値、9月1日調査)

は種日	品 種 名	開花期	さや実数(個/m ²)		生 さや実重 (g/m ²)	乾燥 さや実重 (g/m ²)	上さや 不稔歩合 (%)	収穫期 目安
			総さや数	(うち) 上さや数				
5月20日 (標播)	千葉半立	6/30 (-1)	310 (111%)	154 (164%)	990 (104%)	223 (94%)	1.0 (-1.4)	10/3 (-1)
	ナカテユタカ	6/28 (±0)	369 (135%)	224 (206%)	1,174 (144%)	368 (132%)	1.0 (-1.8)	9/16 (±0)
	Qなつつ	6/29 (±0)	293 (107%)	202 (195%)	1,011 (115%)	340 (120%)	0.0 (-0.8)	9/17 (±0)
	おおまさりネオ	6/28 (±0)	349 (112%)	35 (72%)	1,638 (113%)	284 (102%)	0.0 (-1.3)	9/26 (±0)
6月9日 (晩播)	千葉半立	7/11 (-3)	202 (93%)	114 (165%)	704 (96%)	149 (100%)	0.0 (-1.2)	10/14 (-3)
	ナカテユタカ	7/8 (-5)	283 (119%)	201 (194%)	1,044 (131%)	338 (165%)	0.0 (-1.4)	9/26 (-5)
	Qなつつ	7/10 (-4)	230 (103%)	173 (176%)	858 (111%)	265 (136%)	0.0 (-1.4)	9/28 (-4)
	おおまさりネオ	7/8 (-5)	262 (119%)	25 (97%)	1,117 (96%)	182 (104%)	0.0 (-0.8)	10/6 (-5)

※落花生研究室の栽植密度は5,128株/10a。

カッコ内は平成29～令和3年の平均値対比を示す。

収穫期の目安は、開花期後の標準日数(全て煎莢用)で算出。

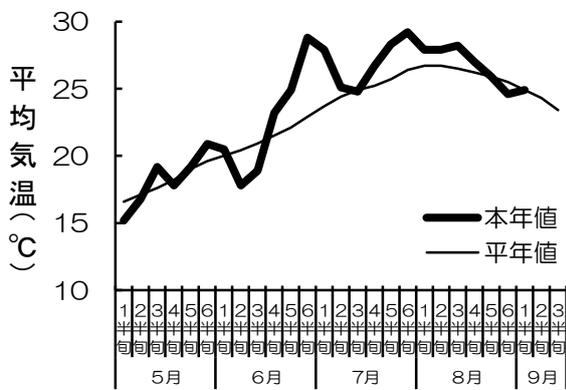


図1 気温の推移(アメダス、佐倉)

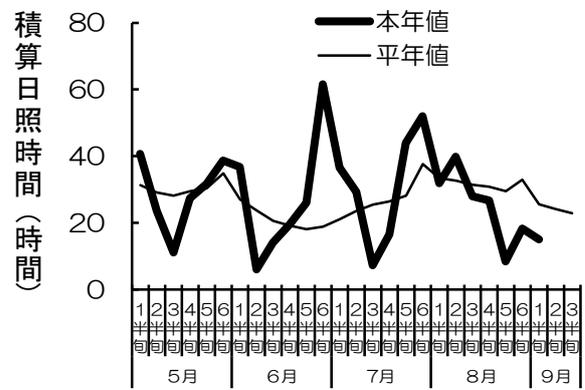


図2 日照時間の推移(アメダス、佐倉)

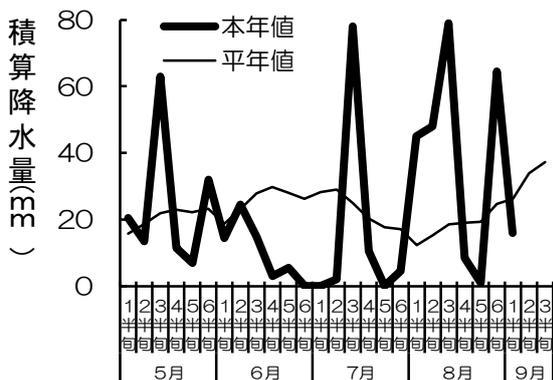


図3 降水量の推移(アメダス、佐倉)

2 これからの管理のポイント

(1) 「試し掘り」で適期収穫

落花生の掘取時期の目安は、下表のとおりです。

今年は遅まきの生育が平年よりも早く、収穫が早まる可能性もあるため、必ず試し掘りをして、収穫適期を逃さないようにしましょう。また、砂地の地域では収穫時期が早まる傾向にあるので、早めに試し掘りをしてください。

掘り遅れた場合、「ナカテユタカ」は食味が低下し、「Qなっつ」は落ち実が発生しやすくなるので、特に注意が必要です。

表3 開花期からの掘取時期の目安

	千葉半立	ナカテユタカ	Qなっつ	おおまさりネオ
開花期からの掘取時期の目安	95日後	80日後	80日後	85日後 (ゆで豆用)

表4 落花生研究室（八街市・マルチ栽培）での収穫期目安

	は種日	開花期	収穫期目安
千葉半立	5月20日	6月30日	10月 3日
	6月 9日	7月11日	10月14日
ナカテユタカ	5月20日	6月28日	9月16日
	6月 9日	7月 8日	9月26日
Qなっつ	5月20日	6月29日	9月17日
	6月 9日	7月10日	9月28日
おおまさりネオ	5月20日	6月28日	9月21日
	6月 9日	7月 8日	10月1日

収穫適期判断法

「ナカテユタカ」及び「Qなっつ」は、さやの裏の色で収穫適期が判断できます。

＜方 法＞

- ①ほ場の中で生育が中庸な4株を掘り、それぞれの株もとのさやを5つとり、さやの裏の色を見ます。
- ②合計20個のさやのうち、その半数以上の色が淡褐色(写真+)以上になり、黒褐色(写真+++)のさやがひとつでも見られたときが掘取りの適期です。
- ③開花期から予想される適期の7日前から、2、3日おきに試し掘りをして判定します。



(3) 優良種子の確保

来年の落花生栽培のため、自家採種する種子を多めに確保し、発芽不良の原因となる幼芽褐変がないか、確認しておきましょう。

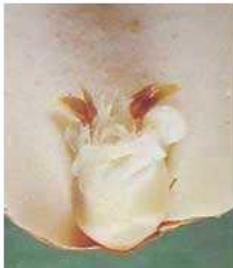
自家採種では、異型株・異型莢を除去するとともに、十分な乾燥により、カビを防ぎ、優良種子の確保に努めましょう。

また、自家採種を続けると品質や収量が低下する恐れがありますので、3～4年に1度、計画的に種子更新を行うことをお勧めします。

<幼芽褐変の見分け方>



健全種子



幼芽褐変 軽度
本葉が褐変
出芽率9割



幼芽褐変 中程度
胚軸上部が褐変
出芽率6割



幼芽褐変 重症
本葉全部と胚軸上部が褐変
出芽率1割

(4) 「栽培管理記録簿」の記入

「栽培管理記録簿」は、生産者自身が栽培管理や使用した肥料や農薬散布の状況を記録し、栽培管理を点検することにより、生産性や品質の向上に役立つものになるとともに、それらを開示することで、千葉ブランド落花生の「安全・安心」を消費者へアピールすることにもつながります。

出荷時に集荷業者に速やかに提出できるよう、もう一度内容を確認し、自分の保存用に控えを用意しておきましょう。

落花生「おおまさり」の種子販売は終了しました

令和3年度から「おおまさり」の種子販売は、「おおまさりネオ」
※に切り替わりました。

※「おおまさりネオ(系統名:千葉P120号)」は、一般生産・販売開始が令和3年から始まった千葉県が育成した新しい落花生品種です。

新品種「おおまさりネオ」の特徴

- ・収穫期、莢の大きさ、収量は「おおまさり」と同等
- ・草型は「おおまさり」よりコンパクト
- ・「おおまさり」よりも、病気(白絹病・茎腐病)に強い



おおまさり

おおまさりネオ

令和3年以降も、「おおまさり」の栽培を希望する場合

自家採種で得た種子を使い、生産・販売を続けることは、問題ありません。
ただし、種子販売終了後でも、自家採種等で得た種子を許可なく譲渡・販売することは種苗法で禁止されています。

注意

「おおまさり」は種苗法に基づいて登録された品種です。
千葉県の許可なく譲渡(販売)などを行うことは禁止されています。
※違反した場合、10年以下の懲役も若しくは1000万円以下の罰金またはそれら両方が科されることがあります。

